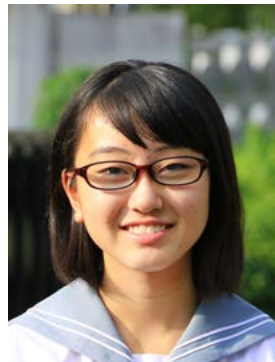


プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

菊池南中学校3年 ^{なはい}平 ^{みづき}美月さん



私は、プラチナ未来人財育成塾に参加してたくさん学ぶことができました。講話を聞いて学んだことが大きく分けて四つあります。

一つ目は東京大学の菊池康紀先生の「考える力を身につけよう。」についてです。何を考えるかという、まず「自分のことを知る」、次に「他人を知る方法を考える」、最後に「システム思考で未来を考える」です。システム思考とは、目標に向けて五年後の短期ビジョン、十五年後の中期的ビジョン、二十五年後の長期的ビジョン、三十五年後の超長期的ビジョンを考えることです。もし私が将来の目標を立てるならば、二〇歳、三〇歳、四〇歳、そして五〇歳の私を考えることが大事だと知りました。

二つ目は日本ラグビー協会コーチングディレクターの中竹竜二先生の話です。リスクを恐れず、失敗してもそれをしっかりと認めることが、成長と成功につながることを学びました。私もこれまで失敗はできるだけ避けたいと思っていましたが、失敗を恐れず、行動していけたらと思います。

三つ目はその失敗に関することです。お話はフューチャー株式会社社長金丸恭文先生からです。金丸先生は失敗についてたくさんのお話を話されました。「若い人の失敗は大した失敗ではない」「子どもの頃にたくさん失敗をしておく、大人になった時にする恥ずかしい失敗の数が減る。」という内容でした。また、「現在身の回りにあるものを使うことは誰にでもできる。しかし現在ないものを創り出すということはチャ

ンスがあり、それにチャレンジした人しかできない。」ということも心に残りました。金丸先生からも失敗を恐れず、チャレンジをたくさんしていくべきことを学びました。

四つ目は優れたリーダーについてです。東京大学の菊池康紀先生からのお話でした。リーダーとフォロワーを良い関係にするためには、コミュニケーションが大切だということ学びました。コミュニケーションを大切にすることでフォロワーが何をやっているのかを把握することができ、どちらの立場も理解することが出来ます。私はもつと生徒会執行部として、たくさん生徒と話をして、意見を聞き、コミュニケーションを大切にできる、優れたリーダーになれるように努力をしていきたいと思います。

講義のあとに毎回行われていたグループワークでは、私が思いつかなかった意見や考え、意外な意見などを聞くことができました。私が絶対にありえないと思っていた答えと理由を聞いて、自分の意見が変わったり、もう一度その議題について考え直したりしました。最初は苦手だったグループワークもだんだんおもしろくなっていき、とても有意義な時間になりました。グループワークの時間にあった※SDGsという持続可能な開発目標を考える中で、私は「世界の貧困をなくそう。」が一番大切だと考えました。私はプラチナ社会（質的豊かさを可能にする社会）を築くためには、世界の貧困をなくすことが必要だと思います。そのためには、公共組織（自治体、健康組合）などが、フェアトレード商品を選んだり、

買ったりすること、積極的にボランティア活動に参加すること、3Rを行うことが大切です。公平な取り引きをして、平等な立場を築き、食品や資源の無駄を無くすことで、世界中の貧困がなくなると考えました。

私が学んだことは講話やグループワークの時だけではありません。研修の中で初めて知ったことがたくさんありました。まず、この研修には菊池市から私を含む七人の生徒が参加し、うち五人は別の中学校からの参加でした。同じ菊池市の中学校の生徒ということもあり、他校のことや生徒会についていろんな話をする事ができ、とても楽しかったです。そして研修先では外国の方や日本全国の参加者と出会い、いろんな違いを知る良い経験となりました。熊本県以外の人が多く、上手く六日間やっていくのか心配でしたが、勇気を出して声をかけてみたり、自分の意見を発表していると、だんだん仲良くなり、多くの友達を作ることができました。それぞれの県の良い所を知ることができ、良い経験になりました。

今回研修で学んだことを学校生活などで生かし、学校をさらによくするために努力します。また研修で学んだこと、よかったことをいろんな人に伝えたいです。今回初めて会った友達、チューターの方たちに感謝し、これからも仲良くしていきたいです。今回プラチナ未来人財育成塾に参加することができて、本当によかったです。

※ Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標 ※作文は一部抜粋